文化祭参加『怪談』満員御礼

ありがとうございました。当日に１回の追加を決めて、全部で３回の公演を行いました。１回目 11:30～と２回目 12:15～に加えて、３回目 14:00 を臨時に加えたのです。４階のいい場所をいただきながら、１３時前に「閉店」したんでは申し訳ないと思いついたのでした。いずれも３０分弱の公演時間です。３回目終了後足と膝が痛くて起きあがれず２０分ほどゴロゴロ悶えていました。

　１回目も２回目も開演５分前までガラガラでした。こりゃまとめて一回で終了かな、と思っていたら、開演時には３５席用意した椅子が満席になりました。これが三回の公演とも全部そうだったそうです。……という言い方をするのは、受付などのスタッフをした生徒たちが後で興奮しながら教えてくれたからです。公演者自身は実は暗闇の中で話に没頭しているためよく見ていませんし見えません。何となく、ああいっぱいいるな、ぐらいです。「あたしたちが集めたからよ」と生徒は言いますので、ああ、ありがとうと。……

　反応もよかったようで、夏中ﾃｰﾌﾟﾚｺｰﾀﾞｰにとったりして家で練習を積んだかいがありました。去年休んでいるし、ネタは同じだし、では語りで聞かせるしかないと…。

（スタッフ生徒の作成したポスター）

「ふんいきがとても　らしくて　よかった。　語り口も上手でした。（女３０代）」「つかれた。幼児６才女（園児にはことばがむずかしかったみたいです。母ー笑）」

「話し方が上手だ。女１０代」「背筋がぞっとして恐すぎた。話し方が恐かった。（女１０代）」
「ちょっとなめていたら、メッチャ恐かったです。家の鏡を見るのが恐くなりました。（女１０代）」「臨場感あって 恐かった。（同）」「語りがいい味を出していました。（同）」
「すごく恐かった。（男４０代）」「恐かったです。（男２０代）」
「話し方がうまかった。（男１０代）」「恐くてよかった。また聞きたいです。（女１０代）」
「雰囲気がとてもよかったです。男の人の声はいいですね。廊下の声が気になりました。（男５０代）」

皆こちらが恥ずかしくなるようなおほめのことばばかりでした。皆さんが一緒になって楽しんで下さったのが分かってとても嬉しかったです。そうは言っても実はわたしの怪談の多くのフアン層は毎年本学院小学校５～６年生の男の子なのです。この子たちは実に熱心になってくれます。文化祭で一度わたしの怪談部屋に入ると出てこないと、一緒にいる親から嘆かれます。彼らは友だち同士でぞろぞろとやってきて「すごく恐いんだから」と言いながら入って行くそうです。「あーこわかった。」と言いながら帰って行くそうです。…感謝! 感謝　また普段の日、廊下で小学生の男の子に行き会うと、「怪談の先生ですね」と気をつけの格好で言われたことがあります。アア～かわいい、たのしい。……
　「チャリティー」と銘打ったので、受付で義捐金をお願いしましたが、それが一番の目的でもありませんから小学生は無料にしました。結果としては、６，２８２円の義捐金になりました。多謝。
来年のことは分かりませんが、するときは新ネタを用意いたします。
ありがとうございました。

（高橋覚　記）

2011/09/21 (Wed) 09:09